

うら山観察会は、「都留の自然と子どもたちの橋渡し」を目的に1989年に発足し、毎年、ネズミヤリス、ムササビなど身近な生き物の観察を続けています。

その中で1番人気の観察会は、何といってもホタルです。毎年多くの方に申し込んでいただき、たくさんの人と、初夏の里山で、幻想的な光のショーを楽しみます。

2012年は、6月29日、30日に行い、たくさんの方を見ることができました。観察後感想を聞くと、「とてもきれいだった」「初めて見て感動した。」など、うれしい感想が多く寄せられました。初めて見て感動したので、夏休みに自由研究で調べてみたいという参加者もいました。企画・運営する側としては、とてもうれしいことです。

こんな感動的な自然の営みが、わたしたちのすぐそばで展開されているのにも関わらず、子どもたちは、塾やスポ少、テレビやゲーム、パソコンなどに時間を奪われ、日常の中で自然体験や生き物との出会いはほとんどないのではないのでしょうか。

年配の方に話を聞くと、昔は、子どもたちは、遊びや仕事で山や川に行き、そこでの自然体験や採集、観察などの自然とのふれあいがあったとのこと。

自然とのふれあいは、本来わたし

たちが持っている、近年失っている大切なものを思い出させてくれます。それがなんであるかをうまく伝えることはできませんが、ただ森の中を歩くだけで、心がリフレッシュされるのは事実です。観察会では、季節ごとに森の中を探検するプログラムを行っています。季節ごとの見どころや、偶然の出会いを、参加者と一緒に楽しんでいきます。初夏の探検では、大きなジムグリというへびに出会いました。手も足もないのに、上手に木に登ります。森の中で、野ネズミやリスに出会ったり、ムササビの滑空を目にしたたりできます。彼らは、世界中から食料や資源を集めて暮らしているわたしたち人間と違い、都留の森の中で、他の多くの生き物たちと互いにつながり合いながら自然を作っているかけがえない存在であるとともに、生物本来の生き方を教えてくれる先生でもあります。うら山観察会は、このような生き物や自然のしくみを学ぶきっかけ作りとして、自然と子どもたちの橋渡しを目的に活動を続けています。

2013年度もムササビ観察を始めいろいろな企画を計画しています。ぜひ、一緒に都留の自然を楽しみましょう。中央公民館で観察会の会員登録ができます。会員になると、観察会の案内が届けられます。ご参加お待ちしております。



毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第258回

「子どもたちに自然とのふれあいを」

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄